

会 議 録

名 称	北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会
議 題	折尾地区
開催日時	平成27年12月15日（火）
開催場所	北九州市役所 15階 特別会議室B
出席者	<p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一 （九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授）</p> <p>牛房 義明 （北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授）</p> <p>東 恭子 （第10期 北九州ミズ21委員会 委員）</p> <p>横田きみよ （コンセプトピディア 代表）</p> <p>事後評価担当（事業課）</p> <p>建築都市局 折尾総合整備事務所 計画課</p> <p>検討会事務局</p> <p>建築都市局 都市計画課</p>
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 座長、構成員の紹介 3 事後評価制度の概要説明 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該地区について説明 <p>「まちづくりの経緯説明」「事後評価手続き等」「今後のまちづくり」について</p> (2) 事後評価手続き等にかかる検討 (3) 今後のまちづくりについて検討 5 事後評価検討会後のスケジュール 6 報告事項 7 閉会の挨拶
構成員の 主なご意見	<p>○事業課より、当該地区のまちづくりの経緯、事後評価手続き等、今後のまちづくりについて一括説明</p> <p>○事後評価手続き等にかかる検討 （成果の評価について）</p> <p>横田 構成員</p> <p>実際に取り組みされたことと評価指標にギャップを感じるの、もう少し補うために定性的な効果ということで、金山川の整備によって、歩きやすさが増したことや、情報誌を発行していることなどが記述できればよいのではないかと。</p> <p>事業課</p> <p>市民センターについて、利用者の増加など書けないか、金山川の完成後にアンケートを実施するなど、定性的な効果の発現状況についての書きぶりを検討したい。</p>

(実施過程の評価について)

横田 構成員

住民参加プロセスの実施状況で、ランチマップの作成とあるが、工事関係者に地元へのPRや、賑わい作りのため、地元住民と一緒に作って作成したことなど、もう少し具体的に記述した方がよいと思う。

事業課

ご指摘いただいた部分について、再度精査をして、具体的に記述する。

(効果発現要因の整理について)

寺町 座長

添付様式4-②の指標4のイベント参加者数の効果発現要因として、歴史的建造物の保全も貢献しているのではないかと。

事業課

旧駅舎に関連することと言えば、旧駅舎の解体イベントなども実施したので、検討する。

牛房 構成員

目標を達成できなかった指標3の街なかにおける居住人口について、できなかった理由として、堀川町の一時的な減少などがあるが、堀川町は、折尾駅の1km圏内に入っているため、記述を検討すべきではないかと。

事業課

ご指摘いただいた部分について、再度精査をして記述する。

牛房 構成員

数値目標を達成した「その他の数値指標1」の今後の活用と、数値目標を達成できなかった「数値目標3」の改善の方針の記述が同じなので、記述の内容を検討してはどうか。

事業課

ご指摘いただいた部分について、再度精査をして記述する。

寺町 座長

事業期間できちんとやらないと、新天地で生活を作ってしまう方々もいるので、きちんと事業期間内に終わって、コミュニティを元に戻すというコメントをしてはどうか。

事業課

ご指摘いただいた部分について、再度精査をして記述する。

(事後評価原案の公表について)

東 構成員

コメントをもらう団体は、今後、若い人を巻き込んだまちづくりも書かれているので、大学生とか大学の研究室とかからもらえばどうか。

⇒構成員の意見を評価シート等に反映した。

横田 構成員

選択式のアンケートだともっと意見が出やすいのではないか。

⇒構成員の意見を評価シート等に反映した。

○今後のまちづくりについて検討

(今後のまちづくり方策について)

寺町 座長

添付様式5-②の達成されたことで、街なかエリアの人口は増加しているは、達成できていない項目なので、駅から1km圏に変えた方がよいのではないか。

添付様式5-②まちの課題の変化の残された未解決の課題に「都市機能の集積などによって」とあるが、添付様式の5-③今後のまちづくり方策に具体的な記述がないので、少し書きすぎではないか。

⇒構成員の意見を評価シート等に反映した。

○その他

横田 構成員

PR ルームを設置していることは大変よいと思うので、一般の住民のかたに興味を持ってもらえるように、もっと工夫したらよいと思う。

⇒構成員の意見を評価シート等に反映した。

寺町 座長

それでは、色々なご意見を頂きましたが、折尾地区の事後評価手続きについて、適切に実行されたということでよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

次に、今後のまちづくり方策について、妥当であると認めてよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして折尾地区の議事を終了致します。

事業課

ありがとうございました。

会 議 録

名 称	北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会
議 題	フォローアップ報告（H26年度完了地区）
開催日時	平成27年12月15日（火）
開催場所	北九州市役所 15階 特別会議室B
出席者	<p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一 （九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授）</p> <p>牛房 義明 （北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授）</p> <p>東 恭子 （第10期 北九州ミズ21委員会 委員）</p> <p>横田きみよ （コンセプトピディア 代表）</p> <p>フォローアップ担当課</p> <p>産業経済局 門司港レトロ課（門司港地区）</p> <p>検討会事務局</p> <p>建築都市局 都市計画課</p>
フォローアップ報告	<p>○フォローアップ報告について （事務局及び担当課より説明）</p> <p>昨年に事後評価を実施した地区のフォローアップについて、報告させていただきます。</p> <p>フォローアップにつきましては、事後評価の際に、推計値で評価を行っていたものについて、実測値が確定した時点で、確定値に置き換え、事後評価の確認を行うものです。</p> <p>今回の報告対象は、平成26年度完了の門司港地区の1地区でございます。</p> <p>それでは、報告に移ります。</p> <p>担当事業課から、主に、A3横の概要（参考資料）で、指標の状況を説明させていただき、あわせて事後評価以降の取り組みについて紹介させていただきます。</p> <p>それでは、門司港地区担当の門司港レトロ室からご説明をお願いします。</p> <p>【門司港地区】</p> <p>門司港地区でございます。</p> <p>お手元のA3横の概要資料をご覧ください。</p> <p>門司港地区では、表左の3つの目標に対し、3つの指標を立てて、事後評価を行いました。</p> <p>これらの指標で、推計値を使っていた指標1について、今回、確定値に置き換え、評価の確認を行ったものです。</p> <p>指標1、「観光入込客数」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値 : 年間206万人 に対し、 ・ 評価時点の推計値 : 年間210万人 が、 ・ 確定値 : 年間222万人 となっています。

確定値が推計値を若干上回っており、事後評価の方向性は昨年と変わっておりません。事後評価時に説明させていただいた通り、今後のまちづくり方策で、更なる観光入込客数の増加に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、門司港地区において事後評価時点以降の取り組みを報告いたします。
お手元のA4縦の「【門司港地区】事後評価時点以降の取組資料」をご覧ください。

上の写真は、今年6月に完成した和布刈公園第二展望デッキです。手すりや園路によるスロープも整備され、車いすや高齢者の利便性を高めることができました。

下の写真は、レトロや和布刈における回遊性を向上させるために、門司港駅と和布刈公園とをつなぐ観光列車を活用した「ワイン de スイーツトロッコ列車」や、地元店舗や大学生が連携した「れとろこまち」などのイベントを開催しております。

今後は、芸術・文化振興にも結びつくグレードの高い都市空間を創出することにより、新たなイベントの開催や観光資源の発掘を促進し、門司港地区の更なる活性化を図っていきたいと考えております。

構成員の
主なご意見

○フォローアップ報告に対する意見

【門司港地区について】

(特に意見なし)

事務局

ありがとうございました。

これで、フォローアップ報告を終わります。